

留学体験レポート

国際文化学部 櫻澤 綾香

1、はじめに

留学によって、私は英語を学ぶだけでなく、貴重な経験をすることができました。その中から学校生活と CP・AB プログラム、最後にホームステイについて紹介したいと思います。

2、授業について

授業は二クラスに分かれて行われ、基本的に月曜から木曜までありました。私のいた B クラスには国情の学生のほかに韓国からの留学生がいました。授業は Mrs.K と Mrs.Hardee という女性の先生 2 人が担当していて、科目ごとにそれぞれの先生が授業をしてくれました。課題はほぼ毎日ありましたが、それほど大変なものではありませんでした。

3、CP・AB プログラムについて

ESL のクラスでは、学校での授業のほかにカンヴァセーションパートナー (CP) と アクティビティバディ (AB) というプログラムがありました。CP では生徒一人または二人につきパートナーとなるノースウェストの学生が一人つき、週一回会って色々なトピックについて話し合いました。私のパートナーは Maddie というアメリカ人の学生でした。彼女はとても明るく気さくな人で、学校内で会うといつも声をかけてくれました。最初は自分の英語に自信がなくあまり自分から積極的に話すことができませんでしたが、彼女は私がかたがた話せない時はフォローしてくれたし、私が聞き取れなかった時は簡単な言葉に言い換えたりしてわかりやすく話してくれました。彼女とのミーティングは毎週とても賑やかで楽しかったです。

AB では、学生一人につきパートナーが二人ついて、毎週学内で行われるイベントに参加しました。私たちはスポーツ観戦や演劇などを見に行ったりしました。その中でも特に、サンクスギビングをお祝いする食事会に参加したことが印象に残っています。AB との交流を通じて彼女たちの友人とも知り合うことができ、良い経験になりました。

4、ホームステイについて

11 月後半にあるサンクスギビングの時には学生寮が閉鎖されるため、ホームステイがありました。私のホストファミリーは Tommy さんという人でした。ホームステイは初めての体験だったので正直不安もありましたが、Tommy さんはとてもいい人で私たち

に気を遣わなくていいよ、と言ってくれました。ホームステイ中は Tommy さんの家族と一緒にサンクスギビングをお祝いしたり、ショッピングに行ったりしました。また、ホームステイ以外にも牧場へ行って乗馬体験をしたり、博物館へ行ったりしたことはとてもいい思い出です。

5、おわりに

4か月の留学期間中には楽しいこともあれば大変なことや辛いこともありますが、やはり思い切って留学に行ってよかったと感じます。それは、留学しなければできない経験がたくさんできたし、多くの人との出会いがあったからです。その意味でも、今回の留学は英語を学ぶためだけのものではない、非常に有意義なものになりました。